

下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信



令和4年3月1日 第20号
奈良県下市町教育委員会
教育長 小谷 隆男 発行

昔の道具から学ぶ<郷土資料館> ~ 下市小3年生が見学 ~

旧丹生小学校(元丹生中学校)の校舎は、現在下市町郷土資料館として使われています。資料館といっても立派な展示施設があるわけではなく、昔の仕事の道具や、衣食住で使われた物がそのまま保存されています。けれど、小学生の子どもたちが下市の歴史を学ぶ上で、大切な学習の場となっています。

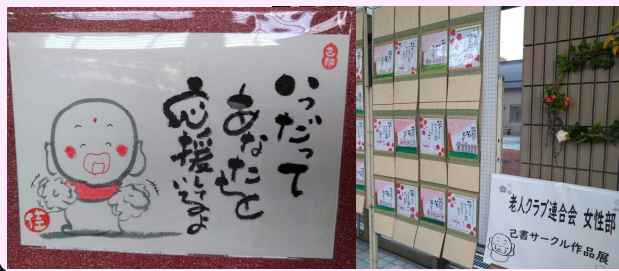
先日、2月2日(水)にも小3の子どもたちが見学に入りました。地域ボランティアの北谷壽朗さんと、向井利彦さんが、一緒に活動し、説明してくださいました。



からけしと松の葉を使って火鉢に火を起こしました。スイッチ一つで点火できる今のストーブとは違い、みんな初めての経験でした。今後、SDGsと郷土学習「下市学」を系統立てて進めるための足がかりにしていきます。

観光文化センターのロビー展

最近、観光文化センターのロビーでの展示がおもしろいです。2月は老人クラブ連合会女性部己書サークルの作品がありました。どれも味のあるいい作品で、ふとした言葉にも勇気づけられました。お立ち寄りの際は是非一度ご覧ください。



初市の出店中止 ~ 神事は実施 ~

昨年に引き続き、2月12日の初市の賑わいも中止になりました。とてもさびしいことですが、コロナのまん延には勝てません。

ただし、神事は例年通り実施されました。福えびすの熊手や笹などは華やかでした。



「市町村子ども駅伝」も中止に ~ 下市だけのタイムトライアルレース ~

県内の小学5・6年生が競う「市町村対抗子ども駅伝」がコロナ禍の影響で中止になりました。下市町からも7名の5・6年生が参加を予定し、日々練習を重ねていたのですが残念ながら出場はかないませんでした。ただ、12日(土)に中央公園で下市だけのタイムトライアルレースを行い、ベストタイムを目指しました。後日、記録賞と着るはずだったユニフォームを手渡します。ご指導いただいたスポーツ推進委員の皆様、どうもありがとうございました。



「下市町教育」を検証 教育評価支援委員

令和3年度の「下市町教育」の検証(点検・評価の報告書)がまとまりました。これは、町教育委員会の1年間の活動と、下市町「教育大綱」<第2期:令和3年度~令和7年度>に定められている29の取組項目について、点検・評価した内容の報告書です。

報告書は2月22日に、議会の全員協議会へ提出し、町民の皆様に見ていただけるように教育委員会のホームページにも掲載しています。

まだまだ不十分な点もありますが、反省をしながら、質の高い教育を目指します。

△教育評価支援委員会▽



先生方も勉強 研究授業

1月、2月は、小学校・中学校の若手の先生方による研究授業(先生たちが学ぶためのもの)が3回行われました。

- 1月26日 下小 千葉先生 算数
- 1月28日 下小 戸田先生 社会
- 2月 2日 下中 勝畷先生 数学

子どもたちが「学び」を深めることが出来るように、新しい工夫をして、いい授業を研究しています。先生方みんなで見学しました。

教員という仕事として当然のことですが、先生方といえども、子どもたち同様に、ずっと勉強して研鑽し続けます。



いまどき教育事情 ② ～「前頭前野」を鍛える～

人間の脳には「前頭前野」という部分があります。ちょうど「おでこ」の裏側です。東北大学の川島隆太教授によると、この「前頭前野」を鍛えることで、「学ぶ力」を高めることができると実証されているそうです。毎日少しずつ次のことを継続すると脳が鍛えられるそうです。

- ①書く ②計算する ③読む ④手や指を使う ⑤家族や友達との会話 ⑥寝る ⑦食べる

勉強して記憶し知識を詰め込むというより、トレーニングして脳をしっかりと育てると考える方が脳科学的には正しく、学力は伸びます。脳が急激に発達する1歳~4歳、少し足踏みした後、再び急激に発達する10歳~19歳は特にこのトレーニングが重要です。つまり、いったん鍛えて「前頭前野」を発達させておけば、どんな「学び」にも対応できるようになるのです。



逆に、「前頭前野」が発達を停止してしまう行動があることも研究で分かっているそうです。それは長時間のスマホやゲームです。1日1時間までなら、脳は対応できるそうですが、1時間を超えると「前頭前野」は反応をやめてしまいます。すでにこれらは脳科学者の常識となっており、Appleのスティーブ・ジョブズが自分の子どもにはスマホを制限した話にもうなずけます。

北京オリ・パラが華やかに報道されています。信じられないほどにぐるぐる回るスノーボードの若い選手を見ていると、人間の能力って本当はすごいんだなあ、と、愚鈍な自分を振り返って思いました。一方で、そんなすごいはずの人間の力でも、ウクライナへの侵攻を止めるのに皆で四苦八苦しています。強さと脆さ両方の行方を見守ります。

ご意見・お問い合わせは…
下市町教育委員会事務局
☎ 0747-52-1711
FAX 0747-52-5159
✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp